

ビーム™ プリンス® 粒剤

水稲育苗箱専用殺虫殺菌剤

いもち病も、害虫も。箱施用で幅広い病害虫を防ぐ。

- 育苗箱処理で葉いもち、初・中期害虫のウンカ類、コブノメイガ、ニカメイチュウ、イネツトムシ、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、イナゴ類、イネアザミウマの同時防除が可能です。
- 低薬量で高い効果を示すとともに、長時間にわたり効果が持続するので、省力的、経済的です。

高密度播種対応



田植えの前に、箱処理1回。
幅広い病害虫をブロック。

●適用病害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	総使用回数*	使用方法
稲 (箱育苗)	いもち病 ウンカ類 コブノメイガ ニカメイチュウ イネツトムシ イネミズゾウムシ イネドロオイムシ イナゴ類 イネアザミウマ	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	移植3日前 ↓ 移植当日	本剤 1回 〔・フィプロニル剤 1回 ・トリシクラゾール 4回以内 (育苗箱への処理は1回以内、 本田では3回以内)〕	育苗箱の 苗の上から 均一に散布する。
		高密度には種する場合は 1kg/10a 育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50~100g			

*本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

ビームプリンス粒剤を正しく、安全にご使用いただくために

■一箱当たり50g(高密度は種の場合は50~100g)を均一散布

育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水したのち田植機にかけて移植してください。



■本田では使用禁止

ビームプリンス粒剤は育苗箱施用専用剤です。本田では使用できません。

■水産動物、特に「エビ類」に注意

ビームプリンス粒剤を使用した圃場の田面水は絶対に水産動物の養殖には使用せず、養魚田、養殖池などには田面水が流れこまないようにしてください。特に「エビ類」の養殖の場合には十分注意してください。「エビ類」の養殖地帯付近では使用しないでください。

■散布場所などに注意

散布の際は、散布粒が側溝や水路などにおちないように処理場所に注意してください。灌水などのためビームプリンス粒剤を処理した育苗箱を水路などに浸漬しないでください。移植後の育苗箱を水路、河川などで洗ったり、洗浄水を水路、河川などに流さないでください。使用済みの袋は畦畔等に放置したり水路などに捨てるなどせず、適切に処理してください。

■手袋着用

散布の際は手袋を着用してください。

■ツマグロヨコバイには効果が劣る

ツマグロヨコバイに対しては効果が劣りますので、萎縮病・黄萎病の罹病率が高い地区では十分な注意が必要です。

■使用上の注意を厳守

使用に際しては、使用上の注意をよく守って危被害防止に万全を期してください。

⚠ 使用上の注意

- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾粒として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- 本剤の処理により、葉の黄化や葉先枯れ等の薬害を生じる場合があるので、所定の使用量、使用時期、使用方法を厳守してください。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので、使用はさけてください。
- 稲苗の葉がぬれていると薬害を生じやすいので、散布直前の灌水はしないでください。
- 移植後、低温が続く、苗の活着遅延が予想される場合、あるいは移植後極端な高温(30℃以上)が続くと予想される場合は、薬害を生じるおそれがあるので使用はさけてください。
- 処理苗を移植する本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かきはいないに行い、移植後に田面が露出しないよう注意してください。
- 移植後は直ちに入水し、水深2~3cm程度に保ち、極端な浅水や深水は薬害の原因になるのでさけてください。
- 深植では薬害を生じやすいので、深植にならないよう注意してください。
- 育苗箱の表面が乾燥している苗を田植機に乗せる際に薬剤が落下するおそれのある場合は、散布後、葉に付着した薬剤を払い落とししてから軽く灌水してください。
- 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟堆肥多用田の場合は使用はさけてください。

- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

⚠ 安全使用上の注意

- 本剤は、眼に対して刺激性があるので眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には、直ちに石けんでよく洗い落とししてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。

治療法…フィプロニルによる中毒に対しては、フェノバルビタール製剤の投与が有効です。(動物実験での報告)

- 水産動物…水産動物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないでください。
- 水産動物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。
- 散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋などは水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管…密封し、直射日光を避け、食品と区別して冷蔵・乾燥した場所に保管してください。



- 使用前にラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 使用後の空袋は環境に影響のないよう適切に処理してください。

製造

ダウ・アグロサイエンス日本株式会社

〒100-6110 東京都千代田区永田町2丁目11番1号
 山王パークタワー
<https://www.corteva.jp/>



取扱

本資料は2022年4月現在の知見に基づき、作成されています。